



神宮寺バイパス(10月24日一部開通)の整備効果！！

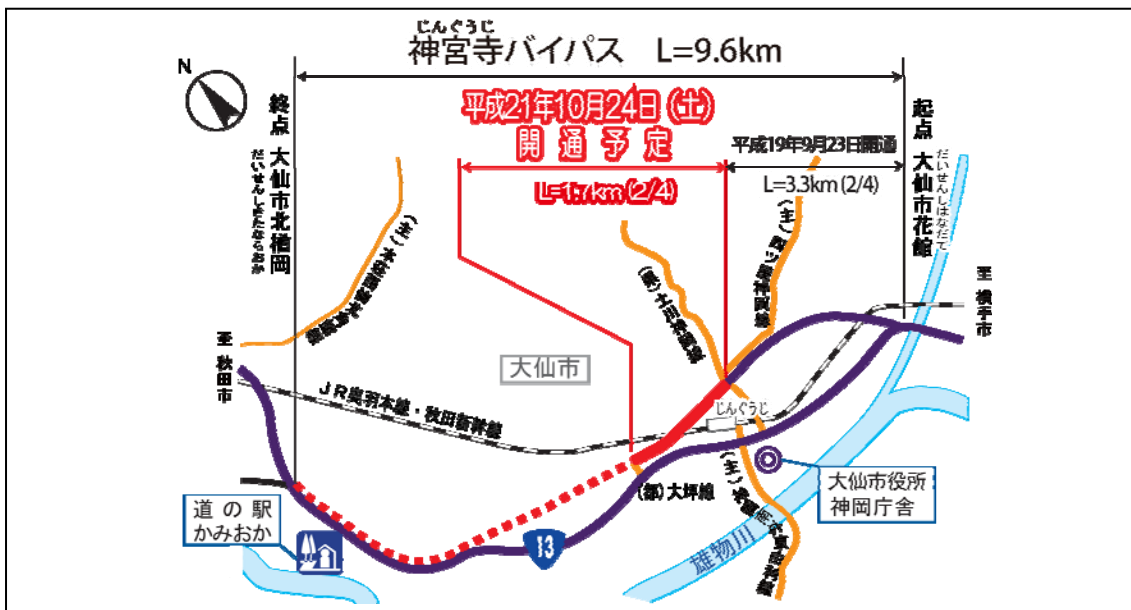
大仙市役所神岡庁舎、道の駅「かみおか」に整備効果を掲示しています。

平成21年10月24日(土)に神宮寺バイパスの一部(1.7km)が開通します。

神宮寺バイパスは、国道13号神宮寺地域の市街地の走行速度改善、渋滞緩和、冬期の安全性確保を目的として事業を進めています。

今回の開通により、現道の交通の約6割がバイパスに転換し走行性の向上が図られる等、安全で快適な通行ができるようになります。

開通による整備効果を、地域の方々、道路利用者にPRするために、大仙市役所神岡庁舎、道の駅「かみおか」にパネルを掲示しています。



☆ 大仙市役所神岡庁舎 パネル掲示状況 ☆



☆ 道の駅「かみおか」パネル掲示状況 ☆

神宮寺バイパスの一部（L=1.7km）が開通します。

- 国道13号の神宮寺地域では市街地の走行速度改善、渋滞の緩和、冬期の安全性確保として、バイパス整備を進めてきました。
- **平成21年10月24日12時** に神宮寺BPの一部（L=1.7km）が開通します。
- 今回の開通により、走行性の向上等が図られ、安全で快適な通行ができるようになります。



国道13号 神宮寺地区の現状

- 大仙市神宮寺地区を通過する国道13号は、交通量が2万台を越えており、**交通容量を超過**。
- このため**朝のラッシュ時**には旅行速度が**18km/hまで低下**し、神宮寺駅入口交差点において**交通渋滞が発生**。
- 北神小学校や平和中学校の**通学路**となっているこの区間は、**歩道幅員が1 m程度の区間が多く**、**児童・生徒が危険な状況**。
- また、**堆雪できる幅が無いことから**、**冬期積雪期に児童・生徒は車道を歩行せざるを得ない**など、**極めて危険な状況**。



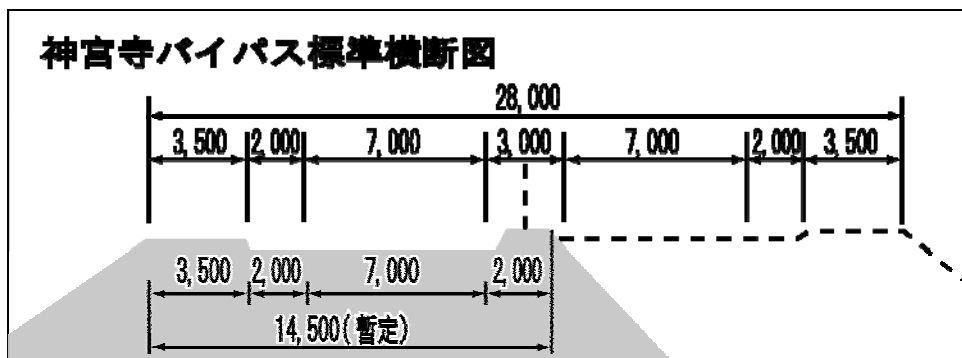
朝夕の通勤時には、渋滞が発生。



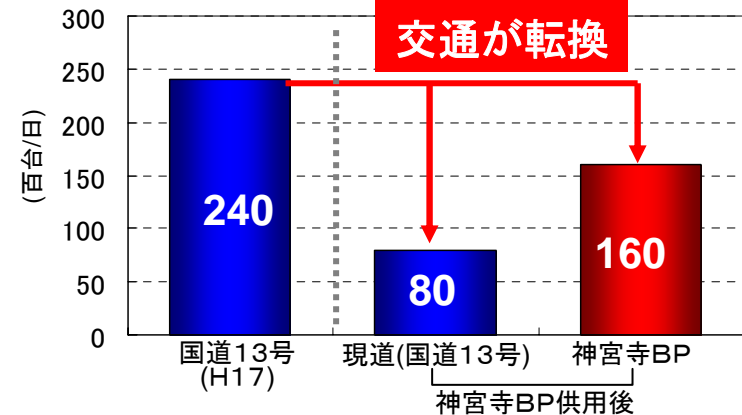
冬期には、大型車が行き交う車道を学童が歩行。

神宮寺バイパス部分供用の整備効果（推計値）

- 今回の供用により、現国道13号の交通が神宮寺バイパスに転換。
- 交通が分散することにより、**神宮寺駅入口、玉川北交差点**で発生していた渋滞が緩和。
- 交通が減少することにより、**通学路の安全性が向上**。

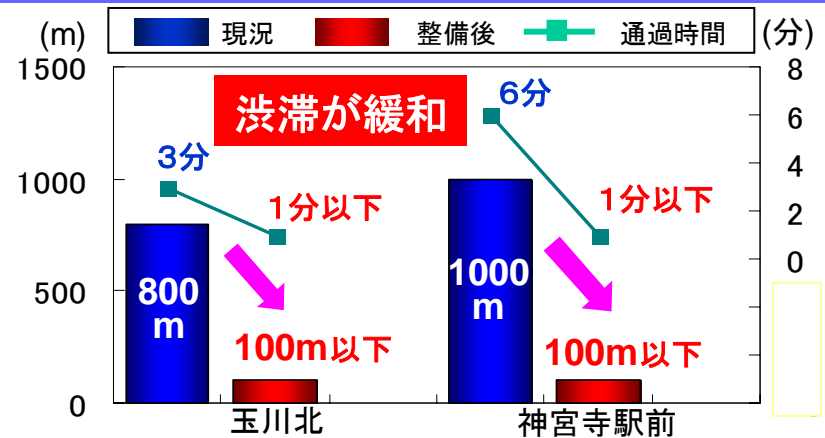


交通量の変化（推計値）



・国道13号(H17)はH17道路交通センサス ・神宮寺BP供用後は推計値

渋滞長及び通過時間の変化（推計値）

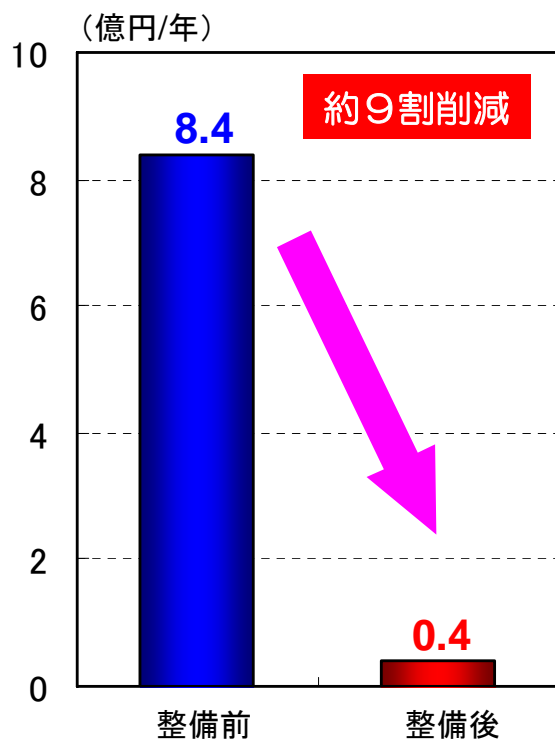


・現況: 渋滞調査結果(H14) ・整備後: 将来交通量推計資料

神宮寺バイパス全線供用の整備効果（推計値）

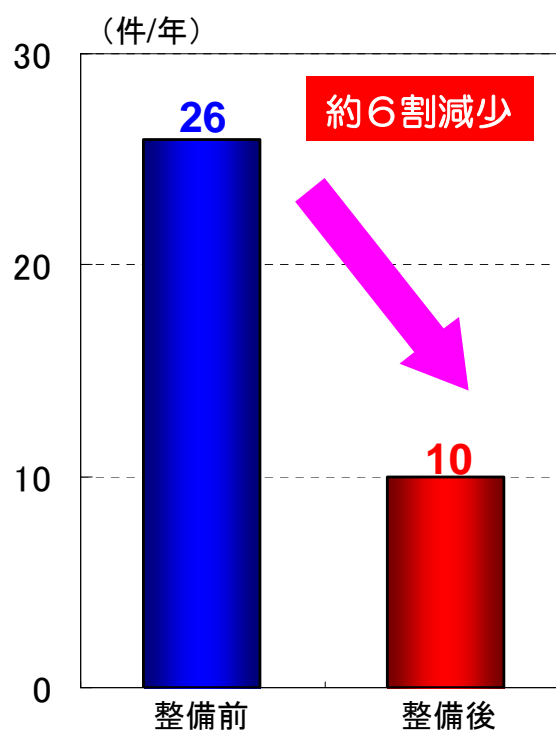
- 神宮寺バイパス全線供用により、大仙市花館から北檜岡間（約10km）の朝ピーク時の所要時間が14分短縮（25分→11分）。
- 渋滞損失額（現道）は約9割削減。
- 事故件数（現道）は約6割減少。
- 大型車交通量（現道）は約8割減少。

渋滞損失額の変化 (現道)



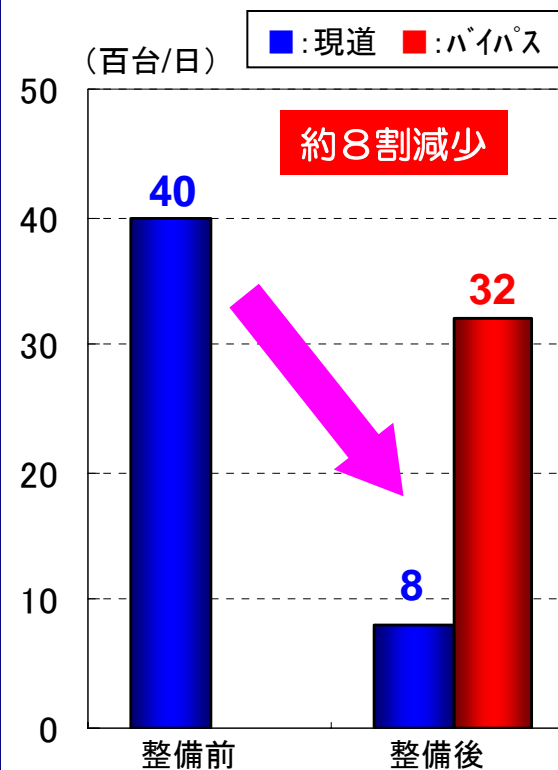
・H19プローブ調査結果及び交通量推計結果より算出

事故件数の変化 (現道)



・整備前はH15～H19イタルダの平均値
・整備後は推計結果より算出

大型車交通量の変化 (現道)



・推計による平均交通量